

— 2020年度 第1回「移住と共生」研究会のご案内 —

1980年代、90年代に来日したニューカマーの人たちの「高齢化」が、滞在の長期化につれて課題となってきました。中国からの帰国者の多くも高齢期を迎え、家族帯同が可能な外国人住民が増えると、本国の老親を呼び寄せて日本でケアを受けるようなケースの想定も必要です。その一方で、日本社会の少子高齢化の進行とともに、介護の現場を支える労働力の不足が逼迫しており、外国人介護労働者の誘致・導入の動きが活発化しています。先行のEPAに基づいた医療・介護労働者の招聘の経過を見ても、人材ニーズの高い地方部での適応や定着に向けての課題が山積しています。

今回の研究会では、「外国人住民の高齢化への対応」と「外国人介護労働研究の現状」についてご報告いただきます。魁生由美子氏（愛媛大学）からは、多文化福祉の先進地の1つである大阪市の在日コリアン高齢者を対象としたデイサービス事業について、村岡則子（聖カタリナ大学）・大黒屋貴稔（聖カタリナ大学）の両氏からは、日本における外国人介護労働に関する研究の動向について、ご報告いただく予定です。また、大黒屋氏・梅村麦生氏（日本大学）より、スペインと日本の移民政策に関するシンポジウムへの参加報告もごぞいます。

ご関心のある方はぜひご参集ください。

〔開催次第〕

日 時： 2021年3月6日（土）午後2時 ～ 午後5時（予定）

場 所： Zoomによるオンライン開催、オンラインアドレス（別紙参照）

研 究 報 告

(1) 魁生由美子（愛媛大学教育学部）

「地域福祉の多文化化—大阪市とその近郊における在日コリアン高齢者を対象とするデイサービス事業」

(2) 村岡則子・大黒屋貴稔（聖カタリナ大学人間健康福祉学部）

「日本における外国人介護労働に関する研究の動向」

シ ン ポ ジ ウ ム 参 加 報 告

(3) 大黒屋貴稔（聖カタリナ大学人間健康福祉学部）、梅村麦生（日本大学文理学部）

「スペインおよび日本の移民政策について」

研究会へ出席を希望される方は事前予約制となっておりますので、お手数ですが **2021年2月16日（火）**までにお名前・ご所属・連絡先等を、聖カタリナ大学・村岡までお知らせください（詳細は別紙参照）。

*本研究会は、日本学術振興会 科学研究費補助金（基盤研究 B）「日本の地方部における多文化化対応とローカルガバナンスに関する地域比較研究」（研究代表者：徳田剛（大谷大学）、課題番号 19H01579、2019～2021年度）の主催によるものです。